

とことん質感にこだわった 感動を与える印刷

繁岡美術は主に結婚式のカードやグリーティングカードなど、付加価値の高い印刷物を製作する会社です。型を使って紙を盛り上げるエンボス加工や、金銀の箔を印刷する箔押し、シルクスクリーン印刷で、他社にはないこだわりの製品が話題です。

繁岡社一代表取締役が経営に携わるようになった5年前は、時代に取り残されている感覚があったそうです。「繁岡美術の特長は?」と聞かれて何も答えられなかったからです。「印刷の仕事はきれいにできて当たり前」の土俵。だからこそ、デザイナーのイメージを超えて、『すごい!』と感動するものを目指さないと次につながらない」と、同社の挑戦が始まりました。

繁岡美術のこだわりは質感です。できあがった印刷物を手に取ったときに感じる、紙や印刷の手触りをとことん追求します。「特に腐食版を使ったエンボス加工の表現力は日本でもトップクラスです」と繁岡さんは胸を張ります。



秘伝の技を加えたエンボス加工の版



立体的に浮き出して見えるグリーティングカード



ここがすごい!!

つくることに対してぼくらが楽しむ感覚です

「ぶっくりしてるでしょ」と繁岡さんの目が輝きます。テントウ虫が紙から飛び出してきそうなエンボス加工のカードです。海外の高級品に比べて、どうしても安っぽく感じてしまう従来のエンボスに納得できず研究していたところ、この技をもっている職人さんに会います。「どうか教えてください」と頼み込んで、自社の職人にも刺激を与えたくて修行に出したそうです。

職人たちの意識も変わりました。「難しくて面倒くさい仕事も、ぼくらが楽しんでいくような感覚でやっています」と言います。



箔押しやエンボス加工の印刷機。1枚1枚でいねいに刷る佐久間さん



「版作りから仕上げまで1から10までできるところがやがい」と言う高橋さん

VOICE

大切と思ったらすぐにやることです

言われたことはすぐにやる。思いついたらすぐにやる。「あとでいいや」という感覚をもっているとどんどん取り残される時代なんですよね。これからはスピードがもっと価値を生んで行く時代になっていく気がします。



繁岡社一代表取締役

有限会社繁岡美術

www.shigeoka-bijyutsu.com

代表者 繁岡 社一
所在地 世田谷区宮坂3-5-7
設立 昭和38年(1963年)
主な事業 シルクスクリーン印刷、箔押し
連絡先 ☎03-3429-2083

